

## 令和3年度上期「米子市営大和公園運動広場」モニタリング評価表 令和3年12月

施設名	総括表	
施設所管課	経済部文化観光局スポーツ振興課	
指定管理者名	団体名	株式会社ジェネシス
	所在地	米子市熊党494-4
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自動販売機の設置	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認 (60点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	資料確認 統括責任者1名 統括責任者補佐1名 作業員2名 清掃員2名 事務員1名 計7名
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	年1回接遇研修を実施されている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	自主事業は計画どおりに行っている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	アンケート調査を実施し、後期に集計する。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。第三者に委託する業務も専門的な技術を要するものである。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査、清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	保安・警備業務について、適切に行われていた。
(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	修繕業務について積極的かつ迅速に対応されている。

4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	自主事業は計画どおりに行えている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	市民の健康管理のための施設管理が行えている。

## II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	接客・対応は適切に行われていた。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	自主事業は計画どおりに実施できている。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。

## III サービスの安定性の評価 (10点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか <b>補足資料※2</b>	B	資料確認
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか <b>補足資料※3</b>	B	資料確認
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか		経営状況分析については、下半期に実施

<p>【総評 (所管課評価)】</p> <p>今年度は指定管理開始年度であったが、概ね良好な管理内容であり施設修繕については積極的に行っていた。また、施設の利用受付についても利用者又は大和公民館と良好な連携に努めていた。</p>	<p>合計点 (61)点 / (95)点 ×100 = (64.2)</p> <p>平均点 (3.2)点</p>
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優 良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B (良 好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)

D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は評価を行った確認方法 (例: 立入調査、台帳確認、資料等確認) と当該評価を行った理由を記載する。

※総評価は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔令和3年4～9月〕 A	前年度〔令和2年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日、100%	
施設利用者数	2,978人	2,376人	+602人 125.3%	感染症の影響の減と思われる
施設稼働率＝ 利用日数/会館 日数	97.2% 178日/183日	58.4% 107日/183日	+38.8% 166.4%	”

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和3年4～9月〕 A	前年度〔令和2年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
指定管理料	5,440,000円	—	—	昨年度までは施設一括管理であったため個別数値なし
自主事業収入	102,612円	—	—	昨年度までは施設一括管理であったため個別数値なし
施設使用料	—	—	—	施設使用料の設定なし
合計	5,542,612円	—	—	

(2) 支出

項目	本年度〔令和3年4～9月〕 A	前年度〔令和2年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	3,385,000円	—	—	昨年度までは施設一括管理であったため個別数値なし
管理運営費	1,616,359円	—	—	昨年度までは施設一括管理であったため個別数値なし
(うち委託料)	949,410円	—	—	昨年度までは施設一括管理であったため個別数値なし
合計	5,001,359円	—	—	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和3年4～9月〕 A	前年度〔令和2年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
① 事業収支	541,253円	—	—	昨年度までは施設一括管理であったため個別数値なし
② 利用料金比率	—	—	—	施設使用料の設定なし
③ 人件費比率	67.7%	—	—	昨年度までは施設一括管理であったため個別数値なし

④外部委託費比率	19%	—	—	昨年度までは施設一括管理であったため個別数値なし
⑤利用者当たり管理コスト	1,679円	—	—	昨年度までは施設一括管理であったため個別数値なし
⑥利用者当たり自治体負担コスト	1,827円	—	—	昨年度までは施設一括管理であったため個別数値なし

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（下半期に実施）

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

施設敷地内の芝刈りの要望、外灯切れ、破損箇所の通報を受けるが迅速に対応している。

6 利用者アンケートの結果

下期に集計